

選択科目 腎・高血圧内科

1. 目標と特徴

本プログラムは、選択科目として腎・高血圧内科を中心とした総合的な内科学の研修を希望するものを対象とする。今後医師として求められる腎・高血圧領域の基礎的知識と診療実践を研修することにより、内科疾患全般の診断、治療について総合的に広く習得することを目標としている。

【腎・高血圧内科】

GIO : 病歴聴取、診察、必要な情報収集を的確に行い、問題点をもれなく抽出し患者の全人的な把握をし、診断・治療計画を立案し、主要な腎・高血圧性疾患（一次性・二次性腎疾患、急性・慢性腎不全、水電解質異常、高血圧）の診断と初期治療を実践できる。また、臓器別診療に捉われず内科学全般の視点から総合的に患者を診療できる。

SBOs :

- (1) 上記の主要な腎・高血圧性疾患の臨床症状、検査異常を説明できる。
- (2) 各種全身性疾患と関連する腎障害の病態を説明できる。
- (3) 検尿、腎機能、電解質、酸塩基平衡検査およびその他の主要な生化学・生理学・血清学的検査を理解し、結果を解釈できる。
- (4) 腎生検ならびに各種の腎疾患の鑑別診断に必要な検査計画を立案し、結果を解釈できる
- (5) 各種の高血圧疾患の診断に必要な負荷・画像検査計画を立案し、結果を解釈できる。
- (6) 非侵襲的循環検査（心エコー、腎エコー、血管エコー）を適切に選択し、結果を解釈できる。
- (7) 各種腎疾患に特異的な治療と支持的療法を理解し、治療計画を立案できる。
- (8) 病態に応じた輸液計画を立案し、実施することができる。
- (9) 緊急を要する腎・高血圧性疾患を鑑別し、初期治療ができる。
- (10) 急性腎障害(AKI)の病態を鑑別し、治療方針を立案できる。
- (11) 慢性腎臓病(CKD)の病態を評価し、原疾患と重症度に対応した、検査、薬物投与設計、治療方針を立案できる。
- (12) 腎代替療法（血液透析・腹膜透析・腎移植）の特性を理解し、病態に応じて適切に選択できる。
- (13) 透析療法導入期と維持期の管理方針につき理解し、説明できる。
- (14) 関連する他職種（看護師、管理栄養士、薬剤師、臨床工学技士など）と円滑なコミュニケーションを確立し、チーム医療を実践する。

【経験すべき疾患・病態】

(1) 主に対象とする病態・疾患

蛋白尿、血尿、浮腫、体液（水・電解質・酸塩基平衡）異常、高血圧症（内分泌疾患、大血管疾患等に伴う二次性を含む）、糸球体腎炎症候群（IgA腎症、急速進行性腎炎など）、ネフローゼ症候群、遺伝性腎疾患、全身性疾患（心疾患、血管炎症候群、膠原病、血液疾患、悪性腫瘍など）に伴う腎障害、薬剤性腎障害、保存期腎不全（慢性腎臓病(CKD G3-5)）、急性腎不全（急性腎障害（AKI））、末期腎不全（CKD G5D）

(2) 緊急処置を要する病態・疾患

下記について、初期治療に参加する。

うっ血性心不全、電解質異常（高K血症など）、高血圧緊急症、尿毒症、多臓器不全、酸塩基平衡異常

2. 教育に関する行事

	月	火	水	木	金
午前	新入院カンファランス 病棟・透析室回診 外来見学 (コンサルテーション対応)	新入院カンファランス 病棟・透析室回診 腎生検	新入院カンファランス 病棟・透析室回診 腎生検	新入院カンファランス 病棟・透析室回診 腎生検	新入院カンファランス 病棟・透析室回診 外来見学 (コンサルテーション対応)

午後	チームカンファランス 病棟回診 論文抄読会等	総回診前カンファランス 教授総回診 腎病理カンファランス 医局会（退院報告）	チームカンファランス 病棟回診	透析症例多職種カンファランス（隔週） チームカンファランス 病棟回診	拡大チームカンファランス 病棟回診
----	------------------------------	---	--------------------	--	----------------------

※適宜、新患・急患対応が入ります。

3. 研修評価

- 1) 病歴の聴取と Problem oriented medical record (POMR)システムによるカルテ記載
- 2) 内科一般診察技術
- 3) 必要な検査の立案、治療計画
- 4) 症例提示（プレゼンテーション）
- 5) 担当症例に関する文献検索と考察
- 6) 病歴要約（退院サマリー）の作成

4. 研修内容・方法

- 1) 病棟で数名の患者を受け持ち指導医のもとで病歴聴取・記載と基本的診察法を学ぶ。
- 2) 病棟患者の病歴や検査結果を指導医とともに評価、診断や治療方針を立案する。
- 3) 各種カンファランス並びに退院報告で自らプレゼンテーションし討議に参加する。
- 4) 腎生検に参加し、担当症例の腎病理組織所見を示説する。
- 5) 透析診療（アクセス造設術、（緊急・維持）透析導入、維持透析管理、多職種カンファランス）に参加する。
- 6) 採血、血管確保、一時的ブラッドアクセスカテーテル留置の技術を習得する。

5. 指導責任者ならびに研修指導医

腎・高血圧内科指導責任者：旭 浩一（腎・高血圧内科診療科部長）

研修指導医：田中文隆（腎・高血圧内科）

〃：吉川和寛（腎・高血圧内科）